

一般国道468号首都圏中央連絡自動車道(大栄～横芝)建設事業に対する
環境大臣意見

本事業実施区域及びその周辺には、谷津田及びそれを取り巻く樹林地が存在し、小型鳥類や両生類、昆虫類だけでなく、それらを餌とする猛禽類やほ乳類が生息し、豊かな生態系を形成している。また、谷津田の周辺には湧水や自噴井がみられ、湧水地を好む希少種であるホトケドジョウの生息地となっている。そのため、計画路線の詳細な構造及び施工計画を検討するに当たっては、地形の改変を最小限にするように努めるとともに、以下の措置を適切に講じる必要がある。

1. 湧水が確認された箇所周辺において、事業実施段階にボーリング調査等を行い、切土やトンネル工事による湧水への影響を把握し、必要に応じて適切な措置を講じること。
2. 谷津田周辺における工事中の濁水対策については、ホトケドジョウの生息環境に影響を与えないよう、また、盛土区間におけるボックスカルバート等の設置については、生息場所への湧水の供給が維持されるよう、事業実施段階にその構造、規模等について十分検討し、適切に対応すること。
3. 谷津田周辺でホトケドジョウの生息が確認された箇所については、工事施工後に生息状況の調査を行い、必要に応じて適切な措置を講じること。

以上について、その旨を評価書に記載すること。